

中津市議会議員 大塚 正俊

まちづくり 通信

発行；大塚まさとし後援会 中津市新大塚町 384 Tel・Fax 0979-22-6972
 携帯 090-2508-7959 E-mail masatoshi@m-ohsuka.com
 URL（ホームページ） <http://www.m-ohsuka.com/>



“熊本・大分地震の発生から、2ヵ月”

死者 49 名、安否不明 1 名という未曾有の災害となった熊本・大分地震の発生から 2 ヶ月が経過し、今なお、6,431 名が避難生活を余儀なくされています。

犠牲になられた皆様に、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

一日も早く復興が進み、被災された皆様の安心した暮らしが戻りますよう、心よりお祈り申し上げます。



宇土市役所での災害ボランティア(4/19・20)

第 2 回定例市議会（6 月議会）は、5 月 26 日から 6 月 23 日の 29 日間開催されました。平成 28 年度一般会計補正予算等の予算関連議案 2 件、条例議案 7 件、その他議案 2 件、人事案件 3 件、報告案件 17 件、請願 4 件、意見書 6 件、決議 1 件、計 42 件を審議しました。請願 3 件、意見書 3 件を除き原案通り可決しました。

■ 6 月定例議会で決まったこと。【抜粋】

1. 平成 28 年度一般会計補正予算；補正額 6,345 万円（補正後予算額 417 億 822 万円）

□総合計画策定事業；約 95 万円

・今後のまちづくりの指針となる「第 5 次総合計画」を策定するための委員報酬等

□3 世代同居支援リフォーム事業；150 万円

・3 世代同居世帯が行う持ち家住宅のトイレ、風呂、台所、玄関の複数設置工事に対する補助（補助率 1/2、上限 75 万円）

□長期休業児童クラブ運営事業；約 515 万円

・春休み、夏休み、冬休み限定の児童クラブを春休みに実施した 2 ヶ所に加え、「まなびん館」で実施する経費（全小学校・全学年を対象）

□保育所等における業務効率化推進事業；2,020 万円

・民間認可保育園、認定こども園の保育士の業務負担軽減を図るための保育システム等の導入（上限 100 万円）、カメラ設置（上限 10 万円）に対する補助（補助率 100%）

□ソーシャルワーカー活用事業；約 92 万円

・学校にソーシャルワーカーを派遣するための経費（週 2 日、1 名分）



2. 条例の制定・一部改正（抜粋）

□工業化促進条例の一部改正

- ・固定資産税の減免対象となる工場等の拡大。（本社機能の移転を推進するため商品研究、開発部門等を追加）



ノンステップバスのイメージ

3. 財産の取得

□低床小型バスの購入；約5,865万円

- ・高齢者等が乗降しやすいノンステップ・超低床バスを購入し、民間バス事業者に無償で貸し付ける。（3台、定員33名）

□救助対応型水槽付消防ポンプ自動車の購入；約7,150万円

- ・東部出張所に、タンク容量3,500ℓ、救助機材、照明機材を搭載した消防車を配置する。



消防ポンプ自動車のイメージ

4. 意見書抜粋（私たちの会派が提出したもの）

【採択】

- 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元および制度の拡充を求める意見書
- 地域医療構想における中津市民病院の増床を求める意見書

【不採択】

- 元海兵隊の米軍属による女性死体遺棄事件に関する意見書
- 熊本・大分地震に伴う九州電力川内原子力発電所の即時停止と四国電力伊方原子力発電所の再稼働の中止を求める意見書

5. 請願

【私たちの会派が提出したもの】 不採択

- 中津市まちづくり条例の制定を求める請願

※市民参加型の中津市政の運営をめざす「中津市まちづくり条例」の制定を求めるもの。

【その他】

- 請願第1号 中津市でも子どもの医療費は中学校卒業まで通院も無料にするよう求める請願・・・【不採択】

- 請願第4号 中学生までの医療費助成の実施に向け中津市民病院の小児救急医療の充実を求める請願・・・【採択】

※中学生までの医療費助成の実施に向けて、中津市民病院の医師等の確保により小児救急医療体制の強化を図ること。



6. 決議（議員提案・採択）

- 中津市中小企業・小規模事業者振興基本条例の制定を求める決議

※中小企業・小規模事業者の振興及び地域経済振興政策の基本となる条例を制定し、中小企業等の振興により働く場を確保し、定住・移住政策を強化すること。

6月定例会市議会の一般質問の概要

■私は、一般質問で以下の項目について執行部の考え方を質しました。

1. 地域防災の推進に向けて

- ①津波避難ビルの指定状況
- ②各校区や自治区単位での津波避難場所の指定
- ③津波避難を想定した道路整備
- ④海岸堤防、河川堤防の改修

2. 公共施設白書における更新費用の確保

- ①公共施設白書の内容と道路、橋りょう、上下水道のインフラの更新費用
- ②公共施設の更新に必要な財源の確保と新たな大型事業の抑制

3. 農道、水路の整備方針

- ①地元要望の現状、平成27・28年度当初予算における農道・水路整備の総額
- ②大幅な削減を行った理由と地元要望事業の今後の対応



1. 地域防災の推進に向けて（抜粋）

（1）津波避難ビルの指定状況

＜質問＞市の防災計画では、周防灘断層地震では最大震度6弱、津波高さは小祝で2.15m、津波到達時間65分、南海トラフ巨大地震では最大震度5強、津波高さは小祝で2.75m、津波到達時間206分と想定されています。

現在、津波避難ビルとして、13施設、44,272㎡を指定していますが、避難対象者人数と指定施設で収容可能な人数、積算根拠について伺います。

【答弁】海拔4mライン以下の地域の避難対象者数は、全体で17,468人となっています。

また、市が現在指定している津波避難ビルの収容予定人数は、通路等も考え1人2㎡で計算しており、現在の収容可能人数については、22,136人となっています。



＜質問＞津波避難ビルの北部小学校は、屋上や3階以上の廊下3,858㎡に1,979人が収容可能となっていますが、屋上へは5mほどのタラップ（梯子）を登らなければならないため、実際には使用できません。南部小学校も同様です。ゆめタウンは、営業時間に津波が来た場合には、収容人員は半分以下になってしまいます。屋上へ登れるような改修工事や昼間、夜間のケースごとに津波避難場所に収容できる人員を推計し、必要数を確保すべきと考えますが如何ですか。

ゆめタウンの屋上駐車場

【答弁】現在、数字上では避難ビルへの収容が可能となっていますが、様々なケースも考えられるため、中津支援学校や東九州龍谷高校とも協定締結に向け準備を進めています。

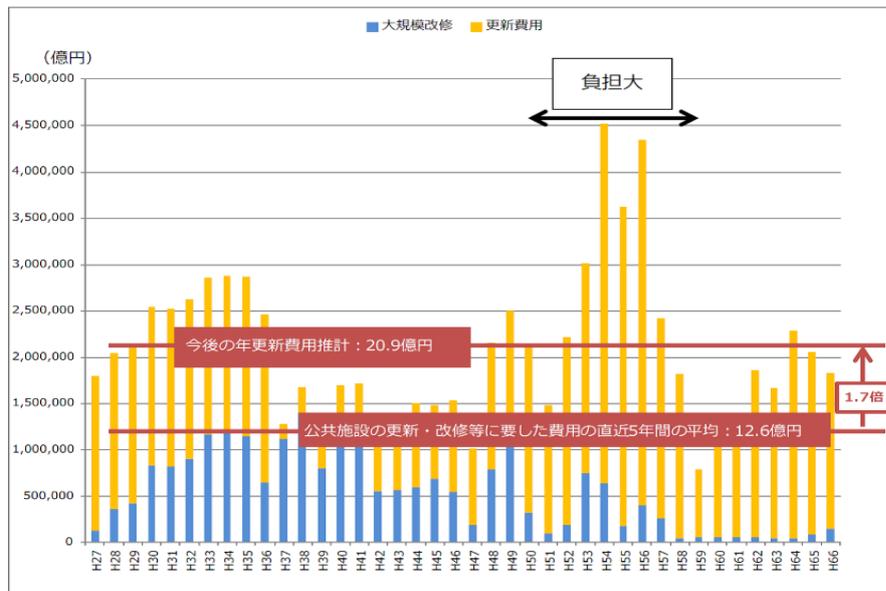
＜質問＞地震発生後、車で避難者がゆめタウンに殺到して駐車場を埋め尽くすと避難可能人数が激減します。そこで、ゆめタウンについて、津波警報が出された時点で、自動車乗り入れの禁止等を指導する市の職員の配置や店舗との調整ができていますのか伺います。

【答弁】職員の配置は難しいと思いますが、店舗での対応等について、調整していきます。

2. 公共施設白書における更新費用の確保

〔情勢〕今年4月、公共施設の現状把握を目的として「中津市公共施設白書」を作成しました。

その概要は、市が保有する市民病院、水道施設を除く、主要な学校、公営住宅、庁舎等の公共施設483施設のうち①延床面積で約55%を【学校と公営住宅】が占めている。②建築年数別延床面積では、昭和50年代に建てられたものが多く、建築年数が31年以上経過した公共施設は45.4%。③市民1人あたりの施設面積は約4.82㎡。（全国平均3.22㎡）となっています。



施設の管理運営費は年間約41.4億円、今後40年間の更新、改修費用の総額は835.6億円、年間更新費用は20.9億円と試算しています。（図参照）

（1）公共施設白書の内容と道路、橋りょう、上下水道等のインフラの更新費用

＜質問＞この試算の中には、今後更新時期を迎える道路、橋りょう、上下水道等のインフラの更新費用が含まれていませんが、公共施設、インフラ等を併せた今後40年間の更新、改修費用の総額、年間更新費用を伺います。

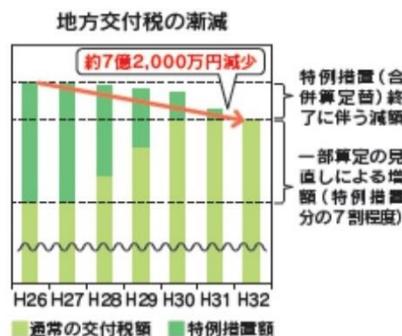
【答弁】公共施設、インフラ等を併せた今後40年間の更新費用は、約2,000億円と推計され、更新費用の年平均は約50億円と推計されます。

＜質問＞今年2月に策定した財政計画では、平成30年度以降の公共施設、インフラ等の整備、更新費用に充当する普通建設事業費を50億円としています。この推計に、公共施設とインフラ更新費用50億円、新歴史民俗資料館（14億3,300万円）と永添サッカー場（15億4,100万円）は含まれているのか伺います。

【答弁】この財政推計では、今後実施が見込まれる個別の事業を積み上げた金額ではなく、また、今回の大型公共施設の年間更新費用を考慮したものではありません。

＜質問＞合併特例債を活用して校舎の耐震、大規模改修、公営住宅の建替等を実施してきましたが、合併特例債も枯渇し、平成32年度までに地方交付税が7億2,000万円減となり、公共施設やインフラの更新に年間50億円の経費が必要となります。

さらに学校の空調施設の電気代や新設している豊寿園の維持管理費も増えるなかで、新歴史民俗資料館（14億3,300万円）と永添サッカー場（15億4,100万円）を建設し、新たな維持管理経費（私の試算ではライフサイクルコストで年間1億円程度）を負担する余力が市の財政にあるのか伺います。



【答弁】新歴史民俗資料館ほか大型施設建設は、事業施行による後年度の財政負担を考慮した上で、その都度整備内容を見直す方向性としたものや、計画を一部見直し、事業費の縮小や事業実施延期の方向性を出した事業もあります。

今後、交付税が減額されるなど財政運営においてマイナス面も考えられるため、来年3月までに「公共施設等総合管理計画」及び「第3期行財政改革5ヶ年計画」を策定していきます。

3. 農道・水路の整備方針

(1) 地元要望の現状

＜質問＞4月以降、自治委員や土木員の方から、農道・水路整備の予算が削減されたので工事がストップしたという苦情を受けました。現在、市に提出された農道・水路の整備、改修の要望件数と総事業費について伺います。



工事が中断した間無地区の水路

【答弁】農道・水路整備等の地元要望は81件で、概算事業費は約16億1,539万円となります。

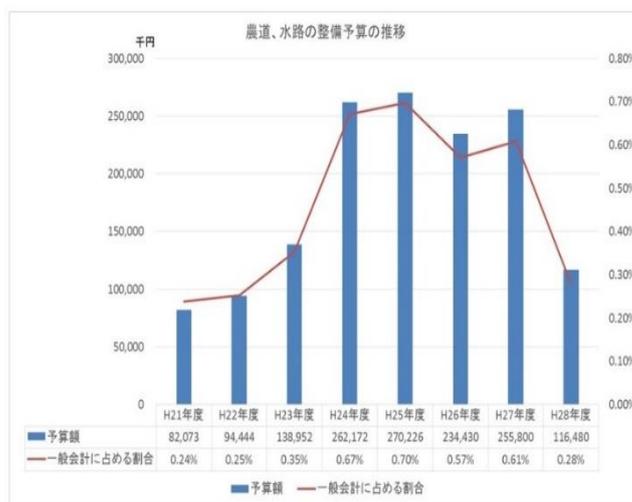
(2) 大幅な削減を行った理由と地元要望事業の今後の対応

＜質問＞今回、農道・水路整備にかかる当初予算の推移のグラフを作成して見ました。図のとおり、平成27年度と比較して平成28年度は55%の削減となっています。

そこで、前年対比で55%も削減した理由について伺います。

【答弁】農道・水路関連の整備事業は、平成27年度までは東九州道、臨港道路の整備にともなう農道・水路の移設、付け替え工事や大貞総合運動公園の整備に伴う関連工事があり、平成27年度当初予算で、1億100万円を予算計上しました。

平成28年度は、関連事業終了に伴う9,992万円の減額が55%の削減となった主な要因です。



＜質問＞地元から81件、16億1,539万円もの事業要望が出されている中で、この地元要望をどのように実施していくのか伺います。

【答弁】農道・水路の整備等は、住民の生活に密着したインフラ整備であり、重要な施策であると認識しています。限られた財源の中で、短期間で全ての地元要望を満たすことは困難と考えますが、事業の重要性・緊急性を考慮して財源の確保に努めます。

＜私の主張＞ 市民から寄せられる要望は、農道・水路の整備、市道の舗装改修、保育所・児童クラブの待機児童の解消、老朽化校舎の改修、不足している教室の確保、国民健康保険税・介護保険料の引き下げ、通学路の確保など、生活に密着した要望事項です。

合併特例債も枯渇し、平成32年度までに地方交付税が7億2,000万円の減となり、公共施設やインフラの更新に年間50億円もの経費が必要となります。

地方交付税の減やインフラの更新費用の増、消費税率10%への引上げが延期となる事による税収減、社会保障費の増、人口減少による税収減等、今想定される要因をすべて踏まえた財政推計の作成を行い、大型事業の更なる事業費の圧縮を検討すべきと考えます。

活動日誌 主な活動の一部をご紹介します。

月日	曜日	活 動 内 容
4月1日	(金)	先進地現地調査(尾道市)
4月3日	(日)	新大塚町子ども御輿まつり
4月7日	(木)	明蓮寺仏教壮年会総会
4月8日	(金)	農道、水路整備予算の調査、春の全国交通安全運動(15日まで)
4月12日	(火)	城北中学校入学式
4月13日	(水)	北部小学校入学式
4月15日	(金)	農業委員会農政部会
4月16日	(土)	北部校区なぎさサロン
4月19日	(火)	戦争法反対アピールウォーク、熊本地震の災害ボランティア(20日まで)
4月21日	(木)	旧下毛地区おこぼさまお参り
4月23日	(土)	北扇ドリーム練習、耶馬溪「日本新三景」選定100周年記念式典
4月24日	(日)	新大塚町内一斉水路清掃活動
4月26日	(火)	飯塚市、田川市の観光施設の利活用調査
4月29日	(金)	新緑まつり&ゴールデンウォーク
5月1日	(日)	新大塚町内農業用水路清掃活動
5月2日	(月)	日田往還(中津街道)の現地調査、NPO法人なかつ耶馬溪活き域きネット理事会
5月3日	(火)	憲法記念日講演会
5月7日	(土)	地元平成会5月例会
5月8日	(日)	耶馬溪につぼん酒をつくる会総会、戦争法反対街宣行動
5月9日	(月)	大分県自治研究センター学習会
5月12日	(木)	会派視察(ふるさと回帰センター、日本自治創造学会研究大会等、13日まで)
5月14日	(土)	5町合同防災訓練に係る要望書に対する市の説明会
5月15日	(日)	蠣瀬川の清掃活動、新大塚町内運動会
5月16日	(月)	県政・市政対策会議、会派打ち合わせ
5月18日	(水)	安保法反対講演会、明蓮寺餅つき
5月19日	(木)	6月議会招集一般質問提出、市議会全員協議会、厚生委員会協議会
5月20日	(金)	勤労協OB会総会、南部校区の道路整備の調査
5月21日	(土)	北部校区自治委員会総会、城北中学校体育大会、北部校区なぎさサロン
5月22日	(日)	耶馬溪につぼん酒をつくる会田植え、直会
5月26日	(木)	6月議会開会
5月27日	(金)	建築士会中津支部総会
5月28日	(土)	水ワクワクフェスタ(門司港レトロ)
5月29日	(日)	中津市職員退職者会総会
5月30日	(月)	民生児童委員協議会総会
5月31日	(火)	北部校区青少年健全育成協議会総会、教育講演会
6月3日	(金)	6月議会議案質疑、市議会企業誘致及び地域活性化研究会
6月4日	(土)	耶馬溪ホテル観賞コンサート、やかたホテルコンサート
6月8日	(水)	6月議会常任委員会(厚生)
6月9日	(木)	6月議会常任委員会(総務消防)、民生委員推薦会
6月10日	(金)	農業委員会農政部会、NPO法人なかつ耶馬溪活き域きネット総会
6月11日	(土)	天までとどけぼたるコンサート(耶馬溪折戸)、中津市職労新入組合員学習会
6月12日	(日)	なかつふれあい子どもランド、吉田ただとも必勝県北ブロック総決起集会
6月13日	(月)	6月議会委員長報告・質疑・討論・採決、ふるさと創生推進本部、もみじ園作品展
6月14日	(火)	北部校区地域福祉計画作業部会
6月15日	(水)	6月議会一般質問(17日まで)
6月17日	(金)	中津商工会議所事業報告会・会員交流会
6月18日	(土)	北部校区なぎさサロン
6月20日	(月)	戦争法反対アピールウォーク
6月22日	(水)	6月議会自由討議、6月議会全員協議会、参議院選挙公示
6月23日	(木)	6月議会最終日
6月24日	(金)	NPO法人中津まちなみ会総会
6月25日	(土)	中津南高校同窓会総会、北扇ドリーム練習
6月26日	(日)	新大塚町皆作祭り
6月30日	(木)	東九州新幹線調査結果報告会



新大塚町子ども神輿祭り



春の全国交通安全運動



新大塚町町内運動会



につぼん酒をつくる会田植え



水わくわくフェスタ



もみじ園作品展

◆活動報告は、ホームページに、詳しく掲載しています。

<http://www.m-ohtsuka.com/> 又は大塚正俊がツイッターで検索して下さい。

編集後記(ひとりごと) 4月19日から2日間、吉村、千木良議員と一緒に、熊本地震で被災した宇土市へ、車中泊で災害ボランティアに行ってきました。学校の廊下や体育館、体育施設等には、被災者された方があふれんばかりに避難していました。中津市でも同様の震災が発生した時に、どこにこれだけの避難者を受け入れられるのであろうかと不安が募りました。(まさとし)